

かわにし

広報かわにし

No.528

平成14年8月10日



ふるさとを
感じる夜

特集 足元からのまちづくり…2
喜寿の祝い…8
真剣に考えよう合併について…14

人口の動き

—8月1日現在—

男 4,037 (－2)

女 4,133 (＋4)

計 8,170 (＋2)

世帯数 2,284 (±0)

() は前月比較

足元からのまちづくり

川西町をはじめとする広域六市町村は、県内でも有数の豪雪地帯であり、人口減少、高齢化が進んでいる地域です。加えて、繊維産業を中心とする製造業の長期低迷により産業面での活力も低下しており、地域全体に停滞ムードが漂っています。

そんな中にあっても、身近なことから題材に、独自でユニークなまちづくり活動を展開している地域やグループがあり、注目されています。

先般行われた、「知事と語るむらおこし・まちづくり」で発表された事例を中心に紹介します。

知事を座長に意見交換

七月十六日、十日町情報館・視聴覚ホールを会場に「知事と語るむらおこし・まちづくり」



が開催されました。

これは、十日町地域の課題について、知事と地域住民とがともに考え意見交換することで地域の実情を把握することなどを目的に、十日町地域振興調整会議が主催して実施したものです。

テーマは「雪国における新たな地域活性化」で、豪雪地であることのハンディや繊維産業を中心とする地域産業の活力低下を抱えながらも、雪を資源として活用したり、身近な材料を生かした産業振興や観光開発などの取り組みが見られます。これらに取り組んでいる人たちと平山知事がパネルディスカッションを通して地域の課題や可能性について議論しました。

出席者は次のとおりです。

(敬称略)

平山 征夫 新潟県知事

阿部ムツ子 手づくりさろんた

桑原 公夫 十日町商工会議所

樋口 利明 青年部会長

山崎 豊士 北越急行(株)営業開発室室長

高橋 幸一 仙田体験交流館

尾池三佐子 たっぴの会会長

地域独自の取り組みを

平山 県民アンケートの結果を見ると、道路などの社会インフラ整備に対する満足度は高いが、保健・医療・福祉と雇用、高齢化対策に関する分野の満足度



平山 県民アンケートの結果を見ると、道路などの社会インフラ整備に対する満足度は高いが、保健・医療・福祉と雇用、高齢化対策に関する分野の満足度

は低いという結果が出ています。

この地域で見ると、ほくほく線の開通や大地の芸術祭などで独自の活性化策をとっているが、これからはこうした地域独自の取り組みが重要になってきます。

県では、地域別の振興計画を策定しているところですが、こうした話し合いが役に立てばと思っています。

さらに、雪国のハンディを逆手にとつて今ある資源を最大限に生かし、この地域が一生を過ごすのにふさわしい場所になるようにみんなで役割を果たしていこうではありませんか。今、実際にそうした活動を進めている皆さんから、活動を通して感じていることなどをお話をしていただきます。

土産品は地元のもので



阿部 二十五年前に機屋の連鎖倒産で職を失いましたが、それ

まで着物産業で培ってきた経験を生かしたことがやりたくて、手芸店を開きました。

最初は編み物用の毛糸やパッチワークなどの材料を扱っていましたが、教室や催しをしている過程で小物や旗などを作る機会が増えました。大地の芸術祭でもグッズ制作などでボラン

ティア指導を行いました。最近では、テレビドラマ出演者の衣装を作ったり、十日町高校甲子園出場時の応援の旗やワールドカップクロアチアチームの旗を依頼されて作ったりしています。

仕事柄着物を着て出かけることが多く、これだけでも着物産業のPRになると思っています。世の中は不況だといっても、旅行や買い物はみんながします。十日町のお土産品などは、全国一律の品物や中国産のものでなく、すべて地場産のものでまかなえないだろうかと思っています。そのため素材はたくさんあるのですが、アイデアと技術を提供する場がないのが残念です。

空き店舗などを利用して、着物や和の感覚を体感できる場を作るといいかなと思います。また、市長をはじめとする市の幹部や議員の方々などは、市内だけでなく市外でもなるべく着物を着てPRにつとめてほしいと思います。

前向きにまず実行



桑原 津南町在住ですが、五年前に十日町市に公認会計士事務

所を開きました。その際、周りの人たちからこの地域で開業しても将来の見通しが立たないぞ

と忠告を受けましたが、地域の発展なくして自分の仕事もないと思い、地域活動にも関わるようになりました。商工会議所青年部の活動に関わってみると、結構前向きの人も多いので、未来もあると思っています。

この地域には、「織物をどうするか」という課題がずっと以前からあり、結局は流通の問題に行きつく。それに対する改善案、解決策が示されてきていながら何ら実行に移されていない。実行しなければ何も変わらないし失敗から学ぶこともできない。

着物地を使って、安く簡単に着られるものができないかと思いい、いま話をされた阿部さんに制作依頼をしています。出来上がり次第、全国の人たちが集まる場でPRしていきたいと思っています。

雇用場の確保の面からは、これからこの地域に大企業や工場を確保するのは難しいので、小さな会社がたくさん生まれるような環境づくりが必要だと思えます。そのためには、高速通信網の整備と文化の発展が重要で、大地の芸術祭は、こうした観点からはとても意義ある催しだと思います。

成功例もあります

平山 ユニークな地域産業の振

興策として軌道に乗っている例が県内に二つほどあります。一つは村上地域の里創プラン事業で、地域アイデアを商品化するためのバックアップを行っていただきます。ちょっとした思いつきや商品プランを公開で審査し、地域にとって価値が高いと判断されたものから順に助成額が決定され、実施に移されます。素人がやって売れるのか、という危険もありましたが、実際に売れているようです。

もう一つはニット産地の五泉・見附地域です。この地域の産業は安い中国製品に押されて自殺者が相次ぐ状況でしたが、デザイナーを共同でかかえたり、アンテナショップを設けて共同受注したり、流通経路を見直したりして業態が回復しています。これらは、実行を伴う「アクションプラン」によって生まれ変わったものです。

二つの事例は、「何をするために何が必要で何をするのか。誰がどこをやるのか」といった具体的な行動計画と実行があって初めて成果が出るという実例です。

県としても「自分たちはここまで責任を持ってやるから、この部分をバックアップしてほしい」という、やる気のある人や地域を支援していきたいと思っ

世界に説明できるもの



樋口 十五年ほど前、自宅を新築する際に「融資する際に「融資を雪室と井戸と断熱に充てよう」と、利雪の家を作りました。

以来、雪や融雪水、雨水を利用した生活を続けています。年間を通じて取材や照会が絶えず、社会の関心の高さも実感しています。

最近では社会の価値観も変化し、雪に対する認識も、邪魔者から自然環境を守る重要な資源へと変わってきました。雪は資源として生かせば十分に産業になり得るし、北海道の美瑛市や安塚町では実際に事業化を推進めています。冷房熱源としては、近隣市町村のいくつかの施設で実現をしていますし、県でも六日町総合庁舎で導入が図られています。

農家が土を耕さなければ農業がダメになるように、雪国が雪をかまわなければ雪国そのものが衰退してしまうのではないのでしょうか。この地域は、世界一の豪雪地帯であることをもった前面に出した事業展開をすべきだと思います。そのためには、五十年の伝統がある雪まつりを

もう一度耕し直し、新潟県唯一の国宝である火焰型土器を生かした、太古から未来へとつながる雪まつりへと変身していく必要があるでしょう。

そして、世界に説明できるものをつくる一步として、雪を中心とする地域資源を活用した雪国自然ムラースノーエコビレッジづくりを提案します。

ここにしかない文化



山崎 旧国鉄時代から、ガーラ湯沢、佐渡観光など、鉄道が関

わる観光振興の分野に取り組んできました。

ほくほく線では、開業から三年間は何をやってもダメでした。そこで、二年前に真冬の当地方をそのまま体験するツアー「雪国体験ほくほく線」を企画しました。六市町村の観光担当者とはこぞって「こんな時期に誰も来るわけがない」と反対しましたが、フタを開けてみると、埼玉、群馬、東京、台湾などから一五〇人が参加しました。

私たちにはどうも「雪国コンプレックス」というものがあるようです。このツアーの時も、「今日は雪が降って悪いね…」とあいさつすると、「とんでもない、この雪を見にお金を払っ

て参加したんだ」と参加者からたしなめられました。感想も、「地元の人飾らない対応が心地良かったです」「かんじきで無垢の雪原を歩いた感動は一生忘れません」「方言が良かったです」と、私たちがぶだん価値と思っていないところに感激しているものが圧倒的でした。

この催しで、「雪国をそのまま、あるがままに売る」ことができることを実感しました。また、自分のまわりで気づいていない価値がたくさんあることも教えられました。

たとえば、東京にいくらいそば粉を持っていてもうまいそばが打てない。水がダメだからです。空気が景観も合わないからです。その後実施した「十日町の着物を着て高田の花見に行こう」という企画も大変好評でした。要は、その地域でなければ、そこに行かなければ体験できない魅力文化をどう作るにかにかかっているようです。

これからの観光は「顔の見える観光」でないと続かないと思えます。安塚町では、都市の人たちから田舎を体験してもらうために六〇〇人のインストラクターを育てています。こうした試みは一市町村だけで取り組むのではなく、近隣が連携して実施することで効果が上がると思

います。

十日町の雪まつりは、イメージ的には札幌雪まつりを上回っているが、システムの部分では大きく劣っている。それは、訪れたお客さんがどこに泊まり、次にどこを観光しているかを見れば差は歴然とします。札幌では、周遊プランなどで周辺市町村もいっしょに活気づいているのに、ここでは、近隣温泉地で直前大量キャンセルが発生したりして不満が噴出している。「十日町だけが儲ける」という発想ではダメだということです。

これからは、地域も素材もセツトで売り出さなければならな

いと思います。その意味でも、各市町村で発行している観光パンフレットは、行政間の壁を破ってまとめて作るべきでしょう。大地の芸術祭でも、前回の反

お客さんの感動に学ぶ

高橋 仙田地区は、かつて川西



町で最も人口の多い地区でしたが、今では最も過疎化と高齢化

が進んでいるところになりました。「これを何とかしなければならぬ」と、平成五年から地域の振興策づくりや活性化事業に取り組んできました。そこで出した結論には二つの柱がありました。一つは地域の資源を売って

いこうということ、もう一つは、各集落単位ではなく地区全体で

取り組もうということでした。そして、その地域活動の拠点施設として、仙田体験交流館・道の駅「瀬替えの郷せんだ」が

昨年七月にオープンし、一周年を迎えました。

昨年七月からの利用者数は三〇、四七五人で、農産物等の直売額は約一、三〇〇万円でした。この数字が多いか少ないかは別

として、それまで何もなかったところ

に、一、三〇〇万円入ったわけですから、地元としては素

直に感激した次第です。

この間、国道二五二号は交通量が少ないことから、イベントをたくさん行いました。自然体験や農業体験など二七回実施し、いろんな体験と情報を集めました

が、「お客さんの感動がすべて勉強」という感じでした。

最初は、やること自体に反対

する人も結構いましたが、開催するたびにお客さんが来てくれるので、今では反対する人はいません。今年も三〇回ほどイベントを予定しています。

これからの課題として、PR不足、技術・知識不足、直売のための生産体制未整備など多くありますが、いろんな人の力を借りながらクリアしていきたいと思っています。

また、気楽に民家を借りて滞在できる仙田型のグリーンツーリズムのようなものにも取り組んでみたいと思っています。

いずれにしても、地域のまとまりをどうつくるか、どう実践していくかが問われているわけで、来年、二歳（二周年）になった時にはさらに成長してい

たいと思います。

「こんなこと」が宝



尾池 九州生まれですが、十二年前に千葉から津南町にイター

ンしました。夫は農業、私は織物と草木染めをやっています。

津南は農業の町でありながら、地元の人たちがそれを食べる機会が少ないことに気がつき

ました。いいものは全部出荷してしまい、地元には残り物しかなかったんです。

そこで、町の中心部にあったスーパの跡地を借りて直売所を設けました。二四人でスター

トし、うち二人は男性です。販売は毎週土曜日の午後からで、少量多品目を扱っています。ここでは、農産物を扱うだけでなく、気楽にお茶も飲めるので、

みんながわいわいがやがやする場所としても重宝なようです。女性

は男性と違って、その日のことをその日のうちに誰かに伝え

ます。こう

した集まり

にも、もつ

と女性が参

加できるよ

うにしてほ

しいと思

います。

都市との交流事業で感じたのですが、私たちが「こんなこと」と感じることも、都会の人は新鮮に感動してくれるというこ

とです。例えば、畑の草取りで

も喜んでやります。ふだん土に

触れることがないからなんです

ね。

私たちのまわりには、「あたり

りまえ」と思っているものでも

「宝もの」に変わるものがたく

さんあることがわかります。

「視点を変える」ということが

とても重要だと思います。

また、行政はもつとサービスに徹して欲しいと思います。私たちのような動きを上手にとらえて、バックアップするような体制がとればもつと地域が良くなると思います。

まず始めよう

平山 五月に行われた地球環境米米フォーラムで、高円宮殿下がアケビの新芽（通称木の芽）のおひたしを何回もおかわりしていました。初めて食べられたよう

ですが、とてもおいしそう

なご様子でした。このように、地元ではあたりまえと思

っていることでも、初めて体験する人が高い評価をしてくれるものがま

だまだたくさんあるようです。

この地域は、こうした、いわば原石のような宝を磨き上げ、持ち寄ること

でさらに高い価値が生まれる可能性が大きいところだといえるでしょう。皆さんの

これからの活動に大いに期待したいと思います。

今回の参加者の発言で共通していることは「足元の資源を見直せば地域の発展が見えてくる」ということでした。そして、最も重要なのは、誰でもない「自分」からそれを始めることだと…

地域農業・農地を支える

農業委員二十一人の皆さん

任期満了に伴う町農業委員会委員の一般選挙は、無投票となり、七月七日の選挙会で次の方々の当選が決まりました。

選挙による委員が十七人、町長選任による委員が四人の計二十一人で構成されています。今回、新人八人が当選し、新人一人が選任されました。任期は、平成十四年七月二十日から十七年七月十九日までの三か年です。

七月二十五日に第一回総会が開かれ、会長に田中義勝さん、会長代理に星名一夫さんが、それぞれ選任されました。

(区分ごと)に届け出順で紹介します。敬称略 ①氏名・年齢 ②住所 ③担当地区

選挙による委員(十七人)



①星名一夫 (58)
②伊友
③伊勢平治・高原田



①高橋安幸 (38)
②高倉
③小脇・高倉



①野上正平 (53)
②田中町
③水口沢・中屋敷



①中村伊勢男 (62)
②坪山
③坪山・霜条・鶴吉



①水品成良 (40)
②新町新田
③新町新田



①田中義勝 (67)
②下原
③下原



①高野敏夫 (52)
②室島
③室島・藤沢



①野沢正夫 (68)
②野口
③野口・四十歩



①北堀明 (60)
②小白倉
③大白倉・小白倉



①小林可生 (65)
②元町
③元町



①小林幹司 (49)
②中仙田
③中仙田・田戸・越ヶ沢



①高橋英雄 (68)
②学校町
③上新井



①田村俊秀 (55)
②赤谷
③赤谷・岩瀬・大倉



①山家勝一 (47)
②木落
③木落



①山田敬一 (55)
②仁田
③仁田



①高津富士男 (54)
②寺ヶ崎
③寺ヶ崎・塩辛



①柄沢和久 (47)
②沖立
③沖立



①丸山重信 (63)
②根深
③原田・根深



①小嶋武夫 (53)
②新町新田
③下平新田・三領・小根岸



①平野清志 (54)
②四郎兼
③山野田・東善寺



①上村英雄 (59)
②上野
③上野・みのり団地

町長選任による委員(四人)

〈農業委員の主な仕事〉
■地域農業と農地の守り手
■農地の集団化・有効利用と流動化の推進役
■農業者年金加入及び手続きのお手伝い役
■地域農業を守り発展させるための建議・答申Ⅱ農家の利益代表

お寄せください あなたの 意見・提案・質問



ブルーベリー園整備予定地

そして、複数の魅力ある観光施設があればなお強いものとなるはずです。その意味からも、観光施設を点で整備するよりも面的に整備しようと、中子を中心に整備を図っているものです。

さて、ご提案の「苔」は一つの手段ですが、町では今、ナカゴグリーンパークの道を挟んだ反対側に、ブルーベリー園を作ろうと計画が進んでいます。「苔」でなくブルーベリーを中心にラズベリーやブラックベリーなどを手段にしたわけです。これですと、①摘み取る楽しみがある。②ジャムやジュースに加工できる。③販売できる。④秋の紅葉が楽しめる。など色々な展開が期待できそうです。雇用の面は「苔」と同じです。

ご承知のように、植物はその生育環境にあった状況の中で管理すれば期待に答えてくれますが、怠れば花や実に跳ね返ってきます。管理も草取り、水くれ、肥培など大変手間のかかるものですが、ブルーベリーが町にとって観光と産業の目玉になるよう取り組んでまいりたいと思います。

問雇用による雇用対策も考慮に入れて。
へナカゴにブルーベリー園を整備します

A: 町では広域観光の拠点として、町内外から人が集うような場づくりをめざし、中子台地を中心とした総合緑地公園の整備を推進しています。

ご指摘のあったように観光客を呼び込むためには、なによりもお客様が来たいという魅力に富んだものでなければなりません。当然規模も要素の一つです。

苔公園を作ったらどうか

(50歳・男性)

Q: 観光客を呼び込める、魅力ある公園としての苔公園の整備を図ったらどうか。失業者の期

苔公園については、規模も考慮すると予算の関係もあり、残念ながら難しいようです。ご理解をお願いいたします。

仙田小学校はどうなる?

(40歳・男性)

Q①: 仙田地域では、人口の減少によりいろんな問題がでてるが、なかでも仙田小学校の問題があると思う。

町としては、将来仙田小学校をどのようにするつもりか、考えを教えてください。



仙田の小学校では、地域やアーティストと連携した学習活動も進められています(瀬替えの田んぼを実測するワークショップ)

消防団の高齢化対策は？

Q② 地域の消防団について、年々消防団の団員も高齢者になってきている。地域消防団の大切さもわかるが、もつ少し真剣に考えてみてはどうか。

＜仙田小学校はすばらしい教育環境です＞

A① 今、仙田小学校は全校児童三四人、学級数は四学級です。少人数のため各学年とも複式学級を余儀なくされています。

今後の見通しとしては、平成十八年度までは三〇人前後で推移しますが、十九年度には一人の入学者で全校二四人と予想しています。

小規模校の場合、一人ひとりの子どもたちに教師の目が行き届く、個に応じた適切な教育ができるという良い面もあります。一方、子どもたちは大勢にもまれないため、ひ弱になったり、競争の心や忍耐力の薄れなどが心配されています。また、複式という点での教育のむずかしさもあります。

しかしながら、仙田小学校の現状では、学校と地域が一体となつての教育活動が各種展開されており、地域を挙げての学校

支援や、開かれた学校としてすばらしい教育環境だと思っています。

将来的な見通しは、児童数の推移にもよりますが、当面は統合再編まで話し合う必要はないのではないかと考えています。

＜施設や設備の整備を進めています＞

A② 日頃から川西町の消防防災活動にご協力をいただき感謝申し上げます。「消防団の高齢化」についてのご質問にお答えします。

川西町消防団は、十日町地域広域事務組合消防団規則に基づき組織されています。団員定数は三六五人と規定されていますが、現在の団員数は三五〇人です。ご心配いただいている消防団員の高齢化についてですが、これは消防団に限らず地域全体の大きな問題としてとらえており、一朝一夕にして解決できるものではありません。

したがって、団員の負担を少しでも軽減できるよう地元消防施設や設備を計画的に改善していくことが重要であると考えています。また、広域消防（常備消防）においても、効率的な職員の配置や設備の充実を図るとともに、さらに消防防災活動の早い対応を可能にするため、現在、通信システムの再構築に向けて準備を進めているところとす。

消防団は地域防災の要です

これらを駆使し、今まで以上に地元消防団と消防署が一体となり、地域住民の不安の解消につとめていただくことが、現段階では最善の策と考えます。ご理解とご協力をお願いいたします。

一緒に作ろう！ 使ってもらおう！

作家と集落の協働作業
（十日町市・鉢集落編）

昨春秋、越後妻有の七つの場所に対し作品プランを公募し、五か所で公募プランが決定しました（二か所は当選作決まらず）。

その中の一つ、十日町市の鉢集落では「陶」を使った自由な提案を募集した結果、水内貴英さんのプランが当選しました。

水内さんの作品プランは、集落内の各家庭を訪問し、世間話や作品への思いといった対話を交えながら、できるだけ多くのみなさんから茶碗を作ってもらおうというものです。

この茶碗は、芸術祭期間中に集落を訪れた人へ、水内さん自らお茶を振る舞う際に使われます。

また、茶碗作りと併せてお茶を振る舞う場所として、集落内の木の上に茶室が作られる予定です（イメージ図参照）。

茶碗には、制作者でもある鉢集落のみなさんか

ら来訪者に当てた自由な質問、メッセージを書きます。しかし内容はお茶を全て飲むまでは読めない、というユニークな演出も用意されています。お茶を飲み終えた来訪者には、徐々にあらわれる文字を読み、短冊に質問への答えや感想を書いていただきます。

芸術祭終了後、茶碗は短冊などと一緒に制作者一人ひとりに贈られます。

作品の制作段階で育まれた集落のひとたちと作家の交流の輪に、さらに完成した作品を通じて生まれる来訪者との「出会い」「ふれあい」「つながり」が加わるという、二段構えで人の輪の広がりを持たせようとするこの作品プラン。七月二十五日には水内さんから、鉢集落のみなさんに、こうしたプランの説明が行われたいねいに行われました。



イメージ図：茶室ドローイング

七月五日に、千手温泉千年の湯で喜寿の祝いが開けられました。今年、喜寿のお祝いを迎えられた方は一二〇人。大正十四年四月二日から十五年四月一日までに生まれた満七十七歳の方が対象です。当日は九十二人の方が出席されました。



※七月五日現在

木島 中條 保次
美咲 高橋 キヌエ
沖立 町 柄 沢 コ ヤ

村 羽 小 星 小 五
山 鳥 林 名 林 十
キ 幸 吉 睦 ミ ミ
セ 蔵 雄 子 ツ イ

高野 中橋 高沢
橋村 キクノ スイ
生 ア イ
二 イ

大丸高
海山橋
ト高喜
モ夫代

二十五人
星名 八重子
高橋 ハル

上上上 上上上
村 村 貫
政 義 門
基 一 平

星名権蔵
富井相四郎
竹口幸

上野地区 二十五人

第2回 花のアートコンクール

審査結果発表

たくさんのご応募ありがとうございました

今年で2回目となった花のアートコンクールは、7月22日に審査が行われ、7月28日に千手温泉「千年の湯」で表彰式が行われました。

個人の部では13作品、団体の部では12作品の応募がありました。昨年より応募数も増え、レベルも高くなってきており、花との取組みの輪が広がってきていることを実感したコンクールでした。

厳正な審査の結果、入賞者は右のとおりとなりました。

※応募作品は、写真を千手温泉「千年の湯」に展示していますので、ぜひご覧ください。

〈個人の部〉(敬称略)

最優秀賞：宮 正子 (山野田)

優秀賞：田村ヒロミ (南台)

〃：村越春代 (野口)

特別賞：清水ノリ子 (学校町)

〃：高橋芳江 (学校町)

〃：南雲要子 (美咲町)

〃：中村吉美 (塩辛)

〈団体の部〉

最優秀賞：大原体験農園花部会 (岩瀬)

優秀賞：ケー・エヌ・ディ (塩辛)

〃：仁田中山間集落 (仁田)

特別賞：川西町交通安全協会女性部 (山野田)

〃：熊野社神輿会 (仁田)

〃：R403号花のグループ (岩瀬)



大原体験農園花部会 (岩瀬)



宮 正子さん (山野田)



ケー・エヌ・ディ (塩辛)



田村ヒロミさん (南台)



仁田中山間集落 (仁田)



村越春代さん (野口)

中屋敷の村づくり

高田城主松平光長支配の正保二年（一六四五）絵図によると、中屋敷村の石高は現在の千手地内では最高で二五〇石余とあり、これに次いで沖立村が二二四石と書きあげられている。

現在の木島川を上手に使って水田を開き、早くから安定したムラを作っていたらしい。

「白川風土記」には、永享年間（一四二九～四〇）開発という古くからの伝承があると述べているが、裏付けになる資料は見つかっていない。

永享年間といえ、南北朝時代の覇者である足利尊氏が開いた室町幕府の全盛期で、応永四年（一三九七）には、足利義満が京都に金閣寺を建立している。



角万（満）寺より中屋敷方面を望む

当地方を根拠としていた新田一族の敗れたあと、足利氏の勢力が全国を押さえ、越後国は、

足利氏に属す上杉氏が直接支配していた。

中屋敷の村名は、その当時の川西地方にはめずらしく、平地の真ん中に住居を構えたのを見て、付けられた呼び名であろう。

坪山地内に樋口屋敷・蒲田屋敷の地名があつたけれども、これは住んでいた人の名を採ったものであり、樋口・蒲田家有力者であつたこと（？）などを裏に含んでの呼び名であろう。

しかし、中屋敷の場合は、旧貝野村の本屋敷・新屋敷などと同じく、住居がいつしよに固ま

おらむらの話

（第十六回）

上野 上村 政基

っている姿を示している。上野地内に屋敷添地名があるのは、田麦新田の家々に寄り添っている意味である。

千手城と下平氏

中屋敷の地内に山城の遺構があり、千手の城山と呼ばれている。城ノ越・城の前・城ノ日向・城ノ沢と呼ぶ地名が残っている。

数条の空堀を備えた中央部に郭があつて、三〇×四〇メートルくらいの平地がある。地形を利用した空堀や郭などの全体構造からみて、戦国時代の築城

形式を留め、上杉謙信のころに下平修理大夫の居城であつたという伝承に結びつけられる。

しかし、「中魚沼郡誌」には、建武年間（一三三四～三八）に新田氏につながる梁田播磨守正則が築城したとあるが、梁田氏に關係する傍証資料がないので確認できない。

下平氏は、長福寺とのつながりが深く、また千手発電所サージタンク付近に居館があつたらしいことは、すでに上新井の項で述べた。

長福寺と角満寺山

城山の下に角万（満）寺地名がある。いずれかの時代に寺があつて呼び名になったかと思われるけれども、遺構も見当たらず、それらしき話も伝えられていない。密教（山伏）関係の小庵があつた程度なら、これほどの地名に残るほどのことはないかと思うけれども、如何であろうか。

曹洞宗長福寺は、初め沖立地内にあつたといひ、寺屋敷地名があつた。

応永十五年（一四〇八）に、

越前国（福井県）の宝円寺から高厳理柏和尚を招いて開山したと寺伝する。招請開山と思われる理柏和尚の没年が永享八年であり、二世宗益和尚の亡くなつたのが永享九年であるから、永享年間の創立は確かであろう。

千手城山・長福寺の伝承に加えて、中屋敷地内に現存する自然石梵字碑（板碑）が一基あり、中屋敷村および沖立村の草創は、もともと古い時代に遡ると考えてよいであろう。

近世の中屋敷村

天和三年（一六八三）検地帳によると、田約一六町九反、畑九町四反余、屋敷五反余（一八件）その他で、総高は二四六石余。

元禄七年（一六九四）改村鑑には、家数四七軒（うち寺一）、人数二五九人（うち僧七）、馬二一匹、牛四匹とある。現在の千手地区では最高のムラである。

寛保二年（一七四二）村鑑によると、家数七九軒・人数三七二人・馬一六匹とあり、別に寺一・僧六人が書き上げられている。

この中には、すでに述べた延享四年（一七四七）絵図の、中屋敷村から千手新田へ進出した二六軒も含まれているものと考えられる。

ずっと昔に、ムラの西に十二社が祀られ、およそ最初の氏神であつたものかとも思われるが、文化年間以前に八幡社に合祀され、その八幡社も天満宮も明治四十年新設の千手神社に合併された。

神社のあとには、現在中屋敷集落開発センターが設置されているし、境内に立てられていた石塔は、道路の東側にまとめて整備されている。それぞれが信心の深さを物語るものであるが、野上氏の建立した金比羅大権現は、両側に大天狗・小天狗を伴う三塔並立のものでめずらしく、貴重なものである。



大天狗・小天狗を伴う金比羅大権現の石塔

また、集落センター玄関傍に、橋畔亭竜昇の立てた「道の辺の木樨は馬に喰れけり」と彫った、松尾芭蕉の句碑がある。郡市内に例が少なく、大切にしていきたいものである。

土地改良区理事長の南雲さん 農村振興技術連盟受賞！



「仕事は時代とともに変わる。それをきちんとやりとげることが大事」という南雲さん

前川西町長で、川西町土地改良区理事長の南雲春雄さん（76）が、全国農村振興技術連盟から「農村振興技術連盟賞」を受賞しました。

この賞は、農業土木技術の発展に顕著な功績があった個人に贈られるもので、新潟県内では四人目、都市内では初の快挙となりました。

南雲さんの受賞理由は、町職員、町長、土地改良区理事長として農業用水の水源造成、利用の高度化、施設の機能増進に一貫して取り組んできており、その功績が認められたことによるものです。

具体的には、川西、坪山、長福寺、松葉沢、五升苗の五つのダムの管理一元化事業や、ダム用水（農業用水）の克雪利用への道を開いたことなどが高く評価されました。特に、ダム用水の克雪利用は、国の複数の機関が関わる水利権、利用目的制限など、

複雑でデリケートな課題を克服したもので、全国で一例しかない画期的なものです。

授賞式は、七月九日に東京のイイノホールで行われ、南雲さんを含め全国で十四人が表彰されました。

南雲さんは、「川西町は山が深く、農業用水確保はダムやため池に頼らざるを得ないため、早くからダム整備が進められてきました。故中村町長、同根津町長をはじめとする諸先輩の実績をベースに、これまでの積み重ねが評価されたものと率直に喜んでいきます。ただ、土地改良事業というものは、地権者（農家）の合意・申請によってはじめて実施できるもので、私はこうした農家のみなさんを代表して賞を頂戴したと思っています」と、謙虚に受賞の感想を語ってくれました。

また、「食糧増産や米価が右肩上がりに上昇していた時代と違い、今は、受益者負担が低くなっているにもかかわらず、土地改良事業で大勢の人たちの同意を得ることが難しくなってきました。これからは容易でない時代になりますね」と、今後の見通しを語りながらも、新たな事業へ取り組み決意と自信に満ちた表情が印象的でした。

児玉達雄さんに 人権擁護委員感謝状

六月二十五日、学校町の児玉達雄さん（72）に法務省人権擁護局長から感謝状が贈られました。



難しい漢字が並ぶ「人権擁護」「子供には楽しく学べる紙芝居で」という児玉さん

児玉さんは、町の人権擁護委員を務めて今年で四期十二年目を迎えます。この間、自宅での人権擁護に関する相談活動を始め、保育園・小学校へは、手作りの紙芝居を使った啓発活動をしたり、中学校への講演活動など、国民の人権の擁護と人権思想の普及高揚に貢献された功績が認められ、この日につながりました。

児玉さんは現在、十日町法務局十日町人権擁護委員協議会の副会長をされており、また三年前からは、ラジオ局FM雪国で昔話を語り続けています。まだまだ現役で多忙な毎日を送る児玉さんでした。

キラリ1周年記念

仙田体験交流館・道の駅「瀬替えの郷せんた」（愛称キラリ）がこのたび1周年を迎え、7月14日（日）に記念フェスティバルが行われました。

台風により心配されていた雨も上がり、野外ライブや屋台村、フリーマーケットには、家族や子供連れなどが多く見られました。午後には、県農林水産部の甲斐元也氏による「地域農業システムをベースとした地域の活性化について」と題した記念講演もあり、町内外から約1,500人が訪れ、賑わいました。

施設管理組合事務局の金子寛子さんは、「ここまでこられたのもキラリに関わる皆さんのおかげ。これからも皆さんと一緒に、仙田のペースで、ゆっくり・じっくり前へ進みたい」と、1年間を振り返りながら新たな目標を定めているようでした。



川中ブラスバンドの音色は、洩海川の川面にキラキラと響き渡りました



サッカーワールドカップ直後とあって、ブラジルの中心選手の髪形を真似て出演した三遊亭白鳥師匠

テレビ生中継で 千年の湯と 川西町の特産品を アピール！

七月五日、TENY（テレビ新潟）の夕方の番組「新潟一番」の取材チームが千手温泉・千年の湯を訪れ、千年の湯や川西町の特産品を生中継で紹介しました。特産品紹介では、笹団子、豆菓子、くるみ羊羹、地酒、そばなどのほか、にぎりたてのコシヒカリおにぎり、木工製品など、バラエティに富んだ特産品を町の観光担当職員が説明しました。同番組のレギュラー出演者で落語家の三遊亭白鳥師匠は、「川西町には落語会で何度も来たけど、こんなうまいもん食わせてもらわなかったなあ」と断家らしいコメントで周囲を沸かせていました。

千年の湯に浸かっている実況中継も温泉の魅力を十分にアピールできたようで、放送直後から問い合わせの電話が殺到しました。数日間は、番組を見て来館した県内のお客さんが多数あり、温泉のスタッフも、マスメディアによる情報発信の力をあらためて認識したということです。

スプリンター沢口君・小川君 全国の舞台へ



全国大会に向けて特訓に励む3人。右から沢口君、小川君、鎌田先生

7月7日、第18回全国小学生陸上競技交流大会新潟県予選会が新潟市陸上競技場で行われ、男子リレー（4×100m）の部で、上野小6年の沢口貴光君と小川諒兵君（十日町A・C〈陸上クラブ〉）が、全国大会への切符を手に入れました。

2人は毎週土曜日、十日町A・Cが行う十日町陸上競技場での練習に参加。まず、チーム内での記録会で4本の指に入り、県大会に出場。見事全国大会へと進みました。

とてもシャイな2人でしたが、1走の沢口君は「フライングをしないようにし、全力で走りたい」と、また、沢口君からバトンを受ける小川君は「悔いのないリレーにしたい」と率直に抱負を述べてくれました。

2人は、8月24日、東京都代々木の国立競技場で開催される全国大会に新潟県代表として出場します。コーチとして同伴する鎌田先生は、「結果も大事だが、思いっきり走ってきて欲しい」と二人に対する期待を話してくれました。

10月にエンデューロ （オートバイ耐久レース）の 世界大会が開かれます

来る10月12日（土）、13日（日）の2日間、川西町内を会場に「ジャパンエンデューロ in 川西2002」と銘打ったモーターサイクルによる国際的なオフロード競技会（ジャパンエンデューロ実行委員会主催）が、国内で初めて開催されることになりました。

この大会は、専用のコースで早さを競うモトクロス大会や一般のエンデューロ（耐久）大会とは異なり、モトクロスコースのほか、公道や私道、河川敷など、一般車両が通行する道路も使用して行う点が特徴です。

したがって、使用するモーターサイクルは公道仕様のもので（ナンバー付きの一般のオフロードバイク）になります。もちろん、公道走行では道路交通法規を守った走行が義務づけられます。また、運転免許証を所持している人なら誰でも参加できる（15歳以下はジュニアクラス）点も特徴となっています。

これは、この大会が、モーターサイクルスポーツの

普及や青少年の健全育成、地域の活性化を目的としていることによるもので、一部の競技者のためのイベントではないことを物語っています。

7月24日、実行委員の皆さんが役場を訪れ、大会の趣旨や競技方法、日程、実施のための準備などについて打ち合わせを行いました。

10月12日と13日は、バイク版ワールドカップのような国際イベントの日となりそうです。

●参加申し込み・お問い合わせ先

〒948-0121 川西町大字新町新田 527-5
ジャパンエンデューロ事務局 内山（☎68-4655）

●ホームページアドレス

<http://www.japan-enduro.com/>



日本で始めて開催される国際大会だけに、綿密な準備が必要となります

真剣に考えよう 合併について

その十

町の行政組織や行政制度は、ここに住む人の幸せのためにあります。市町村合併問題を検討するときも、当然にここに住む人の考えを尊重しながら、「幸せ感」を基準に調査・研究していかなければなりません。

今月号では、各種団体との懇談会と、住民検討組織での意見交換の内容をお知らせします。



合併豆知識

今月号では、市町村合併問題を考える際のポイントになる用語とその現状について紹介します。

Q『人口推計』って何？

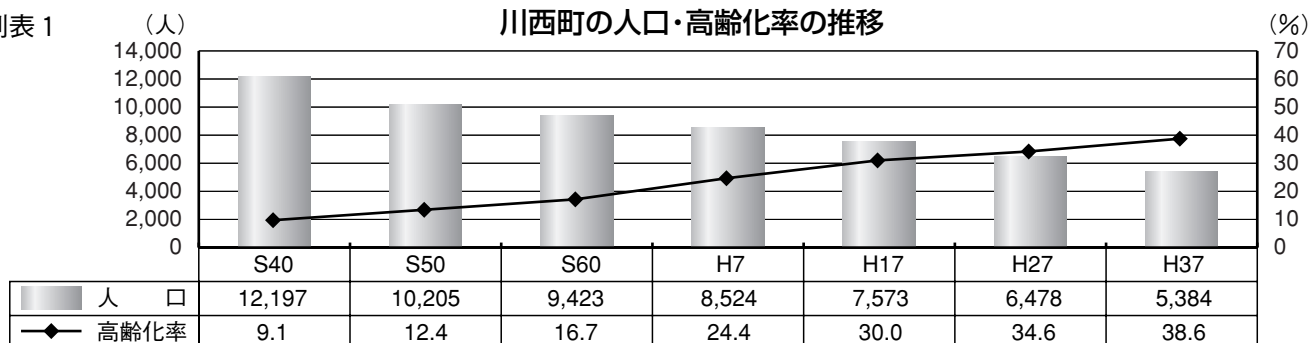
統計機関により、未来の人口や高齢化率などを算出し、数値として表すことです。川西町は、「少子・高齢化」が進展し、それに伴う人口の減少も予測されています。このことが町にどの

ような影響を及ぼすのでしょうか。

- ①担い手が減少し地域全体の活力が低下します。
 - ②生産人口の減少により税収が減ります。
 - ③福祉などの財政需要の増大が予測されます。
 - ④「②と③」などにより、財政の悪化が予想されます。
- 平成十二年の国勢調査を基準とした川西町の人口推移(別表1)をご覧ください。
- 十日町広域圏の人口推移は別表2のとおりです。

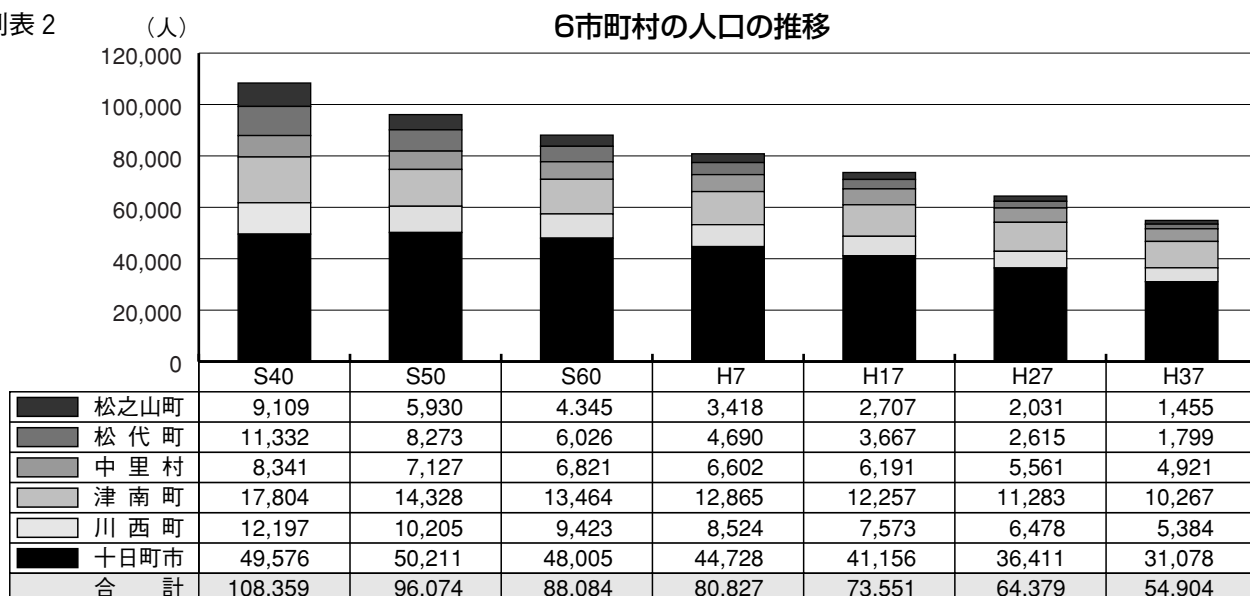
別表1

川西町の人口・高齢化率の推移



別表2

6市町村の人口の推移



※S40からH7までは国勢調査の実績数値、H17からH37までは(財)統計情報研究開発センターの推計数値(コホート変化率法による)

※高齢化率は、人口全体に対する65歳以上人口の割合

※参考：H12の国勢調査の実績数値(川西町) 人口 8,185人 高齢化率 27.3%

Q 地方交付税の算出方法

地方交付税については、本年六月号で解説しましたが、町の歳入総額の約四〇％を占める地方交付税が、どのように算出されるか大まかに解説します。

はじめに、標準的な行政を行う場合に必要とされる経費（基準財政需要額）を別表3により算出し、川西町の自主財源である基準財政収入額（固定資産税や町民税などの税収及び使用料など）との差（別表4）が地方交付税として交付されます。

Q 地方交付税の動向

今後の地方交付税の動向が、合併問題を調査・研究するうえで大変重要になります。国では不況により地方交付税のための財源が不足し、全国の市町村の必要額を賄うため、借金をして地方交付税を交付している状況にあります。その借金残高が約四二兆円にも及んできたため、平成十三年度からは、直接地方に借金（元利償還金は国が全額負担）させる手法もとっています。また、地方交付税制度が小規模市町村に手厚くなっていることから、自治体の合理化・効率化への努力を妨げているという考えも持っています。そこで、補正係数（別表3参照）を見直し、今後3年間で人口四千人規模では五、五〇〇万円、人口八千人規模では五、二〇〇万円交付税を削減するとしています。

Q 川西町への影響と合併判断

交付税算定のもととなる人口が長期的に減少傾向にあることや、国の補正係数の見直しは、現在の経済情勢が続く限り、川西町への交付税は、減額が続くものと推測されます。「合併しないで川西町を存続させるか」、或いは、「合併して新しい町づくりに取り組むか」の判断を難しいものとしています。

合併検討のこれまで・これから

▼七月十一日（川西町活性化センター）
川西町市町村合併問題検討委員会（住民組織）が開催されました。合併問題に係る国県及び町の考え方、合併問題のポイント、メリット・デメリットについて、研修を主体に質疑応答もありまぜ活発に意見交換しました。

▼七月二十四日（川西町活性化センター）
市町村長による「十日町広域

別表3 基準財政需要額の算出

区 分	算 出 例
①人口による算出 (消防費や社会福祉費など 19 項目が該当)	人口 × 単位費用 ^{*1} × 補正係数 ^{*2}
②測定単位による算出 (道路橋りょう費や小学校費など 19 項目が該当)	対象人数(面積等) ^{*3} × 単位費用 ^{*1} × 補正係数 ^{*2}
③地方債（借金）返還額の国補てん分	借入額に対する負担割合分（過疎対策債の場合、償還（借入）額の 70 %）

※1：単位費用とは、人口1人につき〇〇円、道路延長1kmにつき〇〇円という単価のことです。
※2：市町村の自然的・社会的な条件を加味し、標準的な団体（市町村）の行政経費に近づけるための倍数（係数）のことです。川西町は標準団体（人口10万人規模）と比較すると行政コストが割高になるため、補正係数が割増になっています。
※3：対象人数（面積等）とは、高齢者や児童・生徒の人数、道路の面積や延長、農家数などのことです。

別表4 地方交付税の算出

行政を行うに必要な経費 基準財政需要額 ①	
川西町の自主財源 基準財政収入額 ②	①－② 地方交付税の交付額



※川西町は地方交付税に頼りながら行政サービスを実施しています。

圏六市町村合併問題研究懇談会」の第三回の会合が開催されました。今回から各市町村の議長も出席し、任意の合併協議会のあり方について協議しました。



6市町村の首長が集まって行われた懇談会

お気軽にどうぞ

地域の各種団体で、市町村合併問題について、懇談会を希望したい団体がありましたら、お気軽にお問合せください。

身近なあれこれ

今月号では、各種団体との懇談会及び川西市町村合併問題検討委員会（住民組織）での意見を紹介します。文中、商工会との懇談会（六月十日開催）は「商工会」、社会福祉協議会（七月十日開催）は「社協」、合併問題検討委員会（七月十一日開催）は「住民検討」として表記してあります。

合併に賛成

- 人口が減り、財政的に苦しいのであれば、特例法の期限の中で合併をすれば良い。（商工会）
- 合併が良い悪いではなく、合併して当たり前、しなければならぬ時代ではないか。（社協）
- 期限にこだわらずに合併するのであれば、盛り上がりつつ

いる時（期限まで）に合併した方が良い。（社協）
○状態が悪化すると合併できにくくなるので、合併は今しかないチャンスだと思う。（住民検討）

合併なんてできない

- 財政的な面で自立できるのであれば、合併しない方がいいと思う。（商工会）
- 町の独自性や特色を打ち出すためには、川西町の路線を貫くべきだ。（商工会）
- ある市の合併を見たときに、合併で端になった旧町村は発展の気配が見えない。このような状況が川西町でも起こるのではないか。（社協）
- 合併することで過疎になると思う。（社協）
- 合併しても住民サービスの低下を防げとは思わない。（住民検討）
- 説明を聞いていると行政の効率化のみを優先しているような気がする。（住民検討）
- 福祉の面では、人口二万人くらいまでが、隅々まで行き届いた福祉ができる。（住民検討）
- 職員数が減少すれば地域に目が届かなくなる。（住民検討）
- 子育て関係では、中心部に大きい施設があっても役に立たな

役場をお願い

い。利用しやすいのは、歩いて行ける範囲に、小さな施設が点在している方がいいと思う。（住民組織）

- 合併しないで済む方法を考えて方がいいと思う。（住民組織）
- 合併しない場合は交付税がどのくらい減額され、町はいつまで耐えられるのか。（商工会）
- 新聞に、小さい村が合併しないで生き残るにはどうすればよいか、模索を始めた記事があったが、川西町が生き残れる道があれば、比較検討する資料などを提示できないか。（社協）
- もっと具体的なメリット・デメリットを住民が解り易いように数値も含めて示してほしい。（商工会）
- 合併するとしたら川西町の基金は、町のものだと主張してほしい。（商工会）
- 今の川西町はとてもいい町だと思っっている、子供や孫たちがここに住んでよかったと思える町になるように考えてほしい。（商工会）
- 議員や職員は合併すると人員減になり、痛みを伴うと思うが、二十年あるいは三十年後を見据えて考えてほしい。（社協）
- 住民サイドに立ってみるとお

私の思う合併論

- 十日町の方から、川西町の職員は能力が高いという評価をいただいている。（商工会）
- 社協は各市町村で独自で特色のある事業をしているので、行政よりも事業のすりあわせが難しいと思う。（社協）
- 合併は町民の総意で決めるものと思っっている。（住民組織）
- 合併後に禍根を残すことは絶対にしてはならないと思う。（住民組織）
- 合併するとしたら、まったく新しい名前前で合併すべきだと思う。本当は川西町の名前を残したい。（住民組織）

※それぞれの立場で積極的な意見交換ができました。大変ありがとうございました。

- ▼八月五日（川西町活性化センター）
第三回川西市町村合併問題検討委員会（住民組織）が開催され、本年一月に実施したアンケート及び三月に行った地区別懇談会の内容を分析しました。
- ▼八月二十一日（川西町活性化センター）
川西町の教育団体との懇談会を予定しています。
- ▼九月四日（川西町活性化センター）

だんだんどーモ！ ⑫

「山ゆりの会 第八班」の巻

「みんなでわいわい仲良く楽しくやってますて」。老人給食ボランティア「山ゆりの会（根津キヨ子代表）」の第八班の班長柄沢トシさん（沖立）は第一声をこう切り出しました。

山ゆりの会は、昭和五十四年に発足したボランティアグループで、県内で二番目の結成。

「川西町のボランティアの始まりといつていいでしょう」（社会福祉協議会）という伝統あるこの会は、現在会員一七人、八班編制で、毎週二回、四五人前後の食事を調理しています。

「私はまだ四年目ですが、ベテランの人が多いので支えられながらやっています。みんな、メニューを見ただけで手が動かんですて。もちろん口も（笑）」という柄沢さんの向かいでジャガイモの皮をむく星名チイさん



（発電所通東）は、発足当時のメンバ一のひとり。「最初は、十食前後で月二回の作業でした。集まること自体が楽しかったですし、待ってってくれる人がいることが張り合いでここまで続けています」と息の長い活動の理由を話してくれました。

この日参加したメンバーは、お二人のほかに田中ハナイさん（発電所通東）、藤田ツルさん（発電所通西）、小早川トシさん（田中町）、高橋アイさん（東善寺）、南雲イチさん（中央町）の合計七人。五種類のメニューを、あうんの呼吸で作りあげる手際の良さは、まさに、発足から二十三年の伝統のなせる技のようでした。

「食事づくりは主婦が一番入りやすいボランティア」（高齢化は）みんなが行く道。健康なうちに何かやっておきたい」「貯金のようなもんかね」「もう、サービスを受けてもいい歳なんにね（笑）。こうした会話が活動の源のようです。

賑わいだより 1

第1回「住民活動の拠点づくりを考える」ワークシヨップが始まります！

住民の皆さんとさまざまな検討を重ねて三年間、昨年十一月末にオープンした千手温泉千年の湯は、おかげさまで連日大変な賑わいを見せています。

また、ワークシヨップの中から生まれたアイデアによってつくられた浴室入口の大壁面を活用した町民ギャラリーも、いつも作品が絶えることなく展示され、好評を得ています。

昨年度は、後温泉に引き続き健康増進施設の基本計画をワークシヨップでまとめ、現在は実施設計に取り組みながら、施設



すくすく教室に参加の皆さんからいろいろなご意見を伺いました

今月号から、賑わい空間整備事業に関係する施設整備や、ワークシヨップの模様等についてシリーズでお伝えしていきます。

の運営・管理についての検討を進めているところです。そして…お待たせしました!! 住民活動の拠点づくりを考えるワークシヨップが始まります。生涯学習活動、コミュニティ

イ活動、文化活動、ボランティア活動など、皆さんが日頃関わっているさまざまな活動の拠点となる施設づくりを考えるワークシヨップを開催します。

「もっとこうなったらいいな」「こんなことができるといいな」などを、これまで考えてきたことを誰でも自由に発言できる場としていきたいと思っています。皆さん奮ってご参加ください。

日時 八月二十日（火）
午後七時三十分から
会場 川西町総合センター
大ホール

※なお、この拠点施設は国の補助事業（まちづくり総合支援事業）で取り組むこととしており、この事業のなかで千手中央コミュニティセンターとして位置づけています。

ホームアップ 役場 No.16

「あさって」を向く 扇風機



涼を呼ぶ扇風機。しかし、向きは天井や誰もいない所で、まるで「あさって」の方向…

実は、冷房の効き方が偏るのを防いで効率を上げるために使っているもので、世の中には、こうした本来の利用方法からちょっとハズレて使われるものが結構あるようです。

もちろん、扇風機の下で働く職員が「あさって」の方を向くことは、決して！ありません！…あまり強調しない方がいいか。

募集

「第26回町民マラソン大会」参加者募集

■日時 九月二十一日(土)

◎開会式 午前九時十五分

◎競技開始 午前九時四十分

※小雨決行(順延なし)

■会場 川西中学校グラウンド

■参加資格 町民または川西町に勤務ならびに在学する者

■競技内容

(1) 個人走 (2 km) ①小学生全学年男女共通 ②中学生全学年男女共通 ③一般男女共通

(2) 駅伝 A (1 km×3人) ①小学生一・三年生男女共通 ②一般男女共通

(3) 駅伝 B (2 km×3人) ①小学生四・六年生男女共通 ②中学生女子 ③一般男女共通

(4) 駅伝 C (3 km×3人) ①中学生男子 ②一般男女共通

■表彰 個人走は全員に記録証を交付。駅伝は各種目に、一位にメダル、二位まで賞状を授与。

■参加賞 参加者全員

■申込締切 九月四日(水)

※当日参加は受け付けしません。

■申し込み・問い合わせ 教育委員会内川西町体育協会事務局

(☎68-2167)

「ふれあい看護体験2002」に参加しませんか!

県看護協会では、一日看護師体験希望者を募集しています。

ユニホームを着て、患者さんのお世話をしてみませんか。

■対象者 社会人

■参加費 無料

■実施病院/実施日/受入人数

①厚生連中条病院/十月八日(火)/五人 ②上村病院/十月九日(水)/三人 ③小千谷総合病院/十月十日(木)/十人

■申込方法 往復はがきに、住所・氏名・年齢・性別・職業・電話番号・白衣のサイズ・参加動機・希望病院(第二希望まで可)を記入し、申込先へ郵送してください。

■申込期限 八月三十一日(土)

■申込先 〒九五一一八一三三新潟市川岸町二一一 新潟県看護協会 ふれあい看護体験係

☎025-265-11225

郵便局からお知らせ

第二十八回「私のアイデア貯金箱」作品募集

■募集締切 九月十三日(金)

■応募資格 小学生

■応募作品 作品は次の内容のものとなります

①材料は自由②新しく楽しいアイデアが生かされているもの③美しく使いやすいもの④大きさは、一辺の長さ二十五cm以内のもの

※応募はひとり一点とします

■応募方法 原則として所属学校を通じ、最寄りの郵便局に提出してください

平成十四年度「国際ボランティア」作文コンクール」応募者募集

■募集締切 九月十三日(金)

■応募部門 ①小学生②中学・高校生③一般

■作文の内容 国際協力に関して、日ごろ思っていること

①小学生/四〇〇字詰め原稿用紙一枚半以上二枚半以内②中学生以上/同原稿用紙二枚半以上三枚半以内

※作文に題名をつけてください

■応募方法 郵便局に備え付けの応募票に必要事項を記入し、作品とともに最寄りの郵便局に提出してください

■「私のアイデア貯金箱」・「国際ボランティア作文コンクール」に関する詳細は、千手郵便局(☎68-2070)へお問い合わせください。

教室・講座

「Hクッキングヒーター」体験料理教室

■とき 八月二十八日(水) 午前十時~正午

■内容 「残暑で疲れた胃腸にやさしい料理を」

■ところ 東北電力(株)十日町営業所クッキングスタジオ「えぶろん」

■募集定員 十八人(申込者多数の場合抽選)

■参加費 五〇〇円

■持ち物 エプロン

■申込締切 八月二十二日(木)

■申込先 東北電力(株)十日町営業所お客さまセンター(☎52-3107)

平成十四年度

広域遠隔学習推進事業

にいがた連携公開講座

■日時 八月十八日(日) 午後一時半~

■会場 十日町情報館

■演題 国際化の中の人間理解(日本と韓国)

■講師 新潟国際情報大学助教 授 広瀬貞三氏

『川西町史』の訂正について

川西町教育委員会

『川西町史』(昭和六十二年三月発行)をご愛読いただきありがとうございます。

発行後十五年ほど経過しておりますが、この間、歴史に関心をお持ちの方々からご意見やご感想をお寄せいただき、喜んでるところです。

ところで、その『川西町史』の一部に記載誤りがあることがわかりましたので、ここにお詫び申しあげ、次のように訂正させていただきます。

お手持ちの町史を訂正の上ご覧くださるようお願いいたします。

『川西町史』通史編 上巻

表8川西町神社一覧表のうち、一〇三四ページから一〇四三ページに記載の全神社にかけて、神官(祀掌)の欄の名前を次のように訂正するものです。

誤 正

長谷川弁吉 長谷川弁吾

長谷川正巳 長谷川 朗

長谷川正巳 長谷川正巳

催し

「最新IT（情報技術）フォーラム in Tokamachi」のご案内

■日時 八月十四日（水）午前
十時～午後五時

■会場 クロステン中ホール

■内容 ◎ITセミナー 初心者向けセキュリティ対策、無線ネットワークの構築 ◎最新IT展示 VOIP技術、インターネット無料公衆電話、インターネットテレビ電話、WEBカメラ、キヨスク端末、地理情報システム、翻訳システム、無線インターネット ほか

■問い合わせ (株)オスポック総務部企画課(☎50-20037) (hatori@mail.ospoc.com)

デフ・パペットシアター・ひとみ結成
二〇周年記念作品 ギリシャ神話より
オルフェウス

人間と同じ大きさの人形による、手話を交えた人形劇。光と闇のファンタジーを見に、ぜひご来場ください。

■日時 八月十八日（日）午後
十二時半開場、一時開演

■場所 十日町市民会館大ホール※保育ルームを設置（要予約）

■料金 ①大人 二、〇〇〇円 ②幼児から高校生 一、五〇〇円 ③障害・療育・等手帳所持者（介助者は無料）一、五〇〇円 ※前売り・当日とも同料金

■プレイガイド 十日町市公民館、「えことびあ」（川西町木島 61-1588）ほか

■問い合わせ 岩田(☎/FAX 57-3916) 又は春日(☎/FAX 61-0840)

千手温泉千年の湯

くお盆営業時間の延長と
イベント案内く



■お盆の3日間営業時間を延長します

◎期間 8月14日（水）～16日（金）

◎時間 午前10時～深夜12時

■うなぎ&にじますつかみ取り（有料）

1日2回、先着50人までです。

◎日時 8月14日（水）・15日（木）

①午後12時～②午後3時～

「呆け老人をかかえる家族の会」集いのお知らせ

少しでもストレスがたまらないように、呆けについて勉強していきましょう。どなたもお気軽にご参加ください。

■日時 八月二十日（火）午後
一時～三時

■会場 町総合センター

■問い合わせ 平野登美枝(☎68-2908)

その他

平成十四年度 新潟県
職員採用受験案内

■職種／採用予定人員

中級試験 診療放射線技師／一人

初級試験 一般事務／十八人程度、警察事務／四人程度、土木／二人程度、農業土木／一人

小中養護学校事務職員採用試験

学校事務職員／十八人程度

小中養護学校栄養職員採用試験

学校栄養職員／八人程度

■受付期間 八月十四日（水）

～九月三日（火）

■第一次試験日

九月二十九日（日）

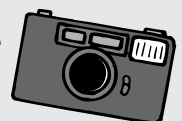
■受験案内・申込書の配付場所

十日町市妻有町西二一

十日町地域振興事務所

☎57-5515

お宅にある
古い写真を
お貸しください



町では今、「二〇〇二年版町勢要覧」の作成を進めています。その中で、「写真で見る川西町の今昔」のコーナーに掲載する次のような「古い写真」を探しています。お宅の書棚やアルバムに眠っている古い写真がありましたらお貸しいただくと幸いです。



- 古い町並みや集落
 - 昔の公共施設や街道・川
 - 農作業や工事・商業活動
 - 今と違う風景や催しなど
- （昭和四十年代頃までのもの）

■お問い合わせ・ご提供先 役場総務課文書広報係（☎68-3111 内305）
※なお、お貸しいただいた写真すべてが掲載されるとは限りません。

牛による田小切作業
（昭和四十年代初頭／中仙田）

— 川西物語 — ぼたん雪

奈良県川西町から
町民劇団がやってくる!



ご家族、ご近所お誘いあわせて、みんなで鑑賞・交流しましょう。

■日 時 平成 14 年 **9月15日(日)** 15:00 ~ (開場 14:30)

■会 場 川西中学校体育館

■入場料 無料 (ただし、「入場整理券」が必要になります。)

〈整理券取扱所(申込先)〉 川西町役場/川西町教育委員会/千手温泉・千年の湯/清水フードだいも店(上野)/ヒノデ(仁田)/仙田体験交流館(中仙田)ほか

■内 容 奈良県川西町民劇団「コスモス」による演劇公演。

●同時開催「全国川西物産展」

●「託児室」もあります。

※「ネットかわにし交流事業実行委員会」では、事業に参加・協力してくださるボランティアを募集しています。参加を希望される方は、下記までお申し出ください。お待ちしております。

■お問い合わせ 〒948-0192 川西町役場総務課 ☎0257-68-3111 FAX0257-68-3828

昭和三十年代の奈良県川西村(当時)を舞台に展開される、商い盛んな貝ボタン商店一家の波瀾万丈なストーリー。笑いあり、涙ありの感動物語です。

朝食は元氣のみなもと

毎日暑い日が続いて食欲も落ちてしまいがちですが朝食を食べていますか?

一日の活動を始めるための朝食をしっかりと摂ると、身体が元気に働き、頭の働きも活発になります。

身体を内側から温め、体温を一定温度に高めるのは、食べ物のおかげです。

とくに、魚、卵、肉、大豆・大豆製品の豆腐や、納豆などのたんぱく質の多い食べものに、体温を高める作用があります。

エネルギーを出すための食べものはごはんやパンですが、それと一緒にたんぱく質を含む、魚、卵、肉、大豆・大豆製品などを一緒に食べましょう。



よう。子どもに朝食を食べさせてください。

※朝食を食べずに仕事に行く人は仕事に集中できないでしょう。

朝は自動販売機の缶コーヒーだけの人↓自分の健康のために朝食を食べましょう。

欧米に古くから伝わる食生活の知恵として、「朝食は王様のごとく、昼食は王子のごとく、夕食は貧者のごとく」という言葉があるそうですが、朝食を豪華にするのは無理としても、主食、主菜、副菜の三つがそろった朝食を食べましょう。

副菜の三つがそろった朝食を食べましょう。

主食：ご飯、パンなど

主菜：魚、肉、卵、大豆・大豆製品などを使ったもの

副菜：野菜や海藻・きのこなどをを使ったもの

善意

(敬称略)

福祉に
小林 徳夫(中屋敷)
丸山 満(高原田)
五万円
五万円

戸籍の窓から

昇天—ごめい福を祈る

星 名 仁 作 91(仁作) 伊友
小 林 タ ケ 87(徳夫) 中屋敷
田 中 忠 吉 75(忠吉) 中島町
星 名 シ ウ 92(金二) 沖立
千 葉 キ ン 80(穂積) 中島町
大 溪 不二男 90(不二男) 上野
丸 山 フ ゴ 89(満) 高原田
うぶ声—おすこやかに
水 落 万 柳 賢一 発電所通り西
星 野 真 凛 孝 志 野 口
数 藤 惇 平 貴 光 栄 町
智 美 町

休日救急医

8月25日 池田医院
(十日町市本町西1)
☎52-2581
9月1日 川西町国保診療所
(川西町高原田)
☎68-2034
8日 石川医院
(津南町上郷宮野原)
☎66-2061
〃 中条病院
(十日町市北原)
☎57-3018
15日 山口医院
(十日町市袋町中)
☎52-2174
〃 上村病院
(中里村田沢)
☎63-2111
16日 第二藤巻医院
(川西町上野)
☎68-2018

■表紙の写真

千手観音十七夜まつり(7月16日)での夜店の表情です。

日常とは違う風景、人の表情がまつりを一層印象深いものにします。「自分のまち」への愛着は、こうした「まつり」の体験からも芽生えていくのでしょう。

? クイズの答えです?

先月号の表紙を飾った野花の名前は次のとおりです。

右列上から順に、ミヤマヨメナ(ミヤコワスレも可)、シシウド、ドクダミ、キオン、ホタルブクロ、シモツケソウ、オオバギボウシ、ヒメジョオン(ハルジオンも可)、エゾアジサイ(ヤマアジサイも可)、ヤマツツジ、ヤマブキシヨウマ。

多くの方々からご応募いただきありがとうございました。全種類正解の方は、村越和子さん(野口)、清水ノリ子さん(学校町)、蔵品順子さん(霜条)、村山京子さん(高原田)、村越由喜さん(野口)でした。以上の方々には記念品を差し上げます。

今回は全問正解が続出しそうなので、いくつか判別の難しい写真も掲載しました。「野の花」「初夏の花」ということに留意された方が全問正解に結びついたようです。



かわい俳壇

高崎正風選

留守二日胡瓜太りておりにけり
紫蘇束ね紫蘇酒にせよと友の来し
わさわさと伸び放題の南瓜つる
学童の声鳥のこゑ史城跡
うれしくてうれしくて子の夏帽子
皮剥けば真珠のような辣蕪かな
新町新田 若山 向山

高砂—ご円満に

片桐 文奈 保宏 小白倉
羽鳥 海琉 遥香 仁田
上村 匠海 正治 学校町
蔵品 愛佳 祐紀 霜条
美恵子
上野 野
角田 美智子 新津市

(7月1日—31日届け出順)

妹の序列なき死よ梅雨最中
そよそよと青田に風のあるばかり
八海の山の高さのこゝ涼し
留守の家に躍りているや青簾
風に鳴る日除老舗の閉じられて
胡瓜もみ単身赴任馴れにけり
汗かいてありがたきかな我が五体
健脚を誇りし頃の登山靴
早畑出て来し人の酔ひしごと
練馬区 須藤 遊人
真四角の夏の匂ひのポストかな
さなぶりの馳走が届く湯治部屋
野鳩啼く静かに朝寝楽しめる
中屋敷 金子 鉄平
観音の木々より湧きて蟬時雨
萬緑の峽の湯宿に友と酌む
足立区 涌井ハル子
蚊火腰に盆の真近の草を刈る
氷菓ありますと貼り紙峠茶屋
田中町 石澤 澄代
朝露のトマトもぐ手に天道虫
食卓を飾りてトマト茄子胡瓜
八王子市 松浦 サク

寸評

正風

台風の来るたび豪雨つれて来し
蟬の羽化じつと見ている寝起きの子
薄紅となりて梅干千されあり
隣りより夜干の梅の匂いかな
小白倉 田中 優美
蛸や触れて冷たき大けやき
七夕の孫の願ひにうなづけり
岩瀬 登坂伊智子
梅雨明けの草の丈増す山の道
会うごとに暑さの愚痴を交しけり
小白倉 江口みゆき
おりおり音の聞こえる遠花火
蔓垂れるトンネル口や蟬時雨
中仙田 樋口タメエ

妹の——「死」は歳に関係なく来る。まさに「序列なき」である。肉親の、それも自分より若い妹であるが故に作者の一層の悲しみ・嘆きが深いのである。

七夕の——短冊に自分の夢や願いを書いて、七夕飾りに吊るすとそれが叶うという。作者はお孫さんの短冊に書かれた願いをほほ笑ましく思ったのである。

◀「ねこのせかい」

2年生 登坂加奈子さん



◀「みんなのマンション」

3年生 南雲淳美さん



▶「ベストマイフレンド」

5・6年生 共同制作



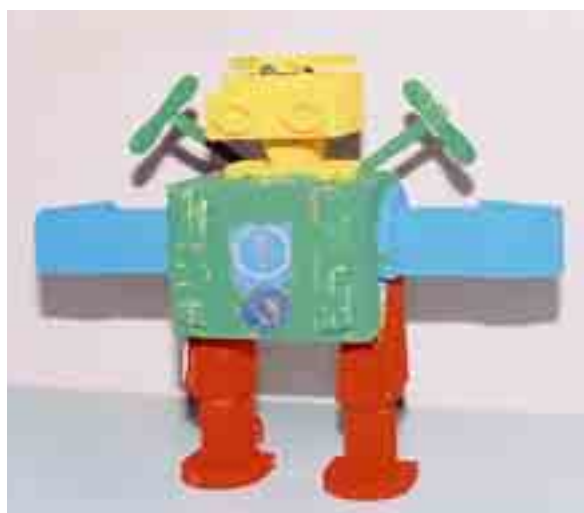
▶「いわせばしのくわがた」

1年生 中條 涉くん



▶「でんせつのロボット」

4年生 登坂大地くん



(9月号は川西中学校です)

●ふゆのそと

四月号のこの欄で紹介した仙田体験交流館の雪室から、保存されていた米が出された。三月に雪を入れてから四か月間、気温約五度、湿度約七〇％に保たれてきた。昨年十月から試験的に預けておいた米は、出庫二日前から気温約一五度の前室に出して温度調整した後、七月二十七日に運び出された。



最も米質が落ちる梅雨の期間を、保存に最適といわれる雪国の冬と同じ条件で過ごしたコシヒカリの味はどうだったのか：「色つや、香り、食味ともすばらしく、まるで新米のよう」とは、早速食べた人の感想。

日本一「うまい米」が、もう一つの日本一「豪雪」によってさらに価値が高まる。この相乗効果を利用しない手はない。④